

III-COOK

NEWS LETTER FROM ASAHI SOSETSU co.,ltd. | vol.023

Café

「美味しさ」をつくる達人に、逢いにゆく
ただの”ものづくり”を超える工場へ
株式会社 能作

地域の伝統を守り未来へつなぐ
「デザイン経営」という手法

2024年度展示会出展の完了報告
こだわりびと



今号の訪問先は
1916年、ものづくりのまち富山県高岡市で創業した鋳物メーカーの株式会社能作。2023年3月にその経営を引き継いだ能作千春さんにお話を伺いました。

ただの“ものづくり”を超える工場へ 株式会社 能作

アサヒ装設株式会社
代表取締役社長
山本 康太

株式会社 能作
代表取締役社長
能作 千春さん



錫製テーブルウェア

2011年に家業である株式会社の新社屋移転を機に産業観光事業を立ち上げるほか、同会社のPR活動に取り組む。2012年に代表取締役社長に就任し、現

スズ 錫の歴史

錫と言われると銅と錫の合金である青銅を思い浮かべるかもしれないが、それ以外でも錫を使ったものづくりの歴史は古く、最古の錫器は紀元前1500年ごろのエジプトの遺跡から発掘されたと言われている「巡礼者の壺」と呼ばれるものらしい。東アジアでも古くから作られており、三国志にも劉備玄徳が母親に錫の茶壺に入った茶を送ったという記述がある。日本国内においては、6~7世紀の古墳から発掘された耳環が古く、正倉院の北倉にも錫製茶壺が残されている。

食品業界における錫

食品業界において最も身近な錫を使った製品は、果物の缶詰である。果物の缶詰は、ブリキで作られており、そのブリキは鉄に錫メッキを施したものである。実は、この錫メッキにより、果物の品質が保たれている。本来、缶詰の中に残っている酸素が果物と反応し果物が酸化してしまう。すると、色や香りなどが変化してしまうのだが、錫がその酸素と反応することで、果物と反応することを防ぎ、果物の品質が保たれている。

ちなみに、錫は白缶の内面塗装に使用されているが、現在の缶には食品業界向けにさまざまな工夫が施されている。ただし開缶後は別の容器に移して保存するのが良い。

能作

今回、私が訪れた能作は、北陸富山県北西部に位置する高岡市にて1916年から鋳物の製造を始め、伝統的な花器や茶道具・仏具を製造し、2000年代か



ら錫100%の製品を製造するようになる。2017年ごろからは、“もの”をつくるだけでなく、“こと”と“ところ”を伝えるために産業観光を推進している。その拠点となる能作本社にて、工場見学を通し、鋳物、そして、ものづくりの魅力を地域、日本、そして世界へ伝え続けている。



産業観光

今から35年以上前、小学5年生くらいの男の子を連れて工場見学に来たお母さんに「よく見なさいね。ちゃんと勉強しないとこんな仕事をする大人に将来なるよ」と言われたことがきっかけで、長年続いている産業が素晴らしいものだというのを、これから産業を担う子どもたちに伝えていく責任があると、現会長のお父様が決心し、工場見学を大切にしてきた。それを今や能作の柱の一つとなっている産業観光として、推進してきたのが、能作千春現代表取締役社長である。以前は、担当数名で行っていた工場見学も、産業観光課という部署が新設され、今では年間13万人の来場者が、製品そのものだけでなく、工場や加工技術を見て体験するために訪れるというのだから驚きである。

魅力を伝えるのも職人

基本は、産業観光課の方が工場見学

の対応をするそうだが、夏休みシーズンやGW等では、部署の垣根を越えて皆で企画を立ち上げて、イベントを運営しているとのこと、その際は、職人が直接お客様を接客する。もちろん、工場見学では、職人がものづくりをしているところを見るわけだが、毎日毎日、自分たちの前を人が歩いて、作業を見られるということは、とても抵抗を感じるところであろう。しかし、実際に、お客様に説明をしたり、技術を見せてあげたりすると徐々に自分事になっていくとのことであった。そして、自分事になることには、計り知れない効果がある。

その一つは、工場内の環境改善である。私も工場内を見ることができたが、そこで印象的だったのは、整理整頓された現場であるということであった。作業場には、年季の入った道具が多く置かれていたが、それらは決して乱雑に置かれていたわけでもなく、自作の棚もあるが、とても綺麗な佇まいだったことが印象に残っている。

また、人材採用のきっかけにも繋がっており、近年では、県外からも働きたいと高岡にやってくる若者も増えているとのことである。そして、若手が増えると周りもより活性化していく。もちろん、工場見学をしたことのある若者が将来の技術の担い手として、門戸を叩いてくることも増えているそうである。



錫の柔らかさ

製品の中でも、その柔らかさを活かしたKAGOシリーズは錫という昔ながらの材料を使いながら、その柔らかさを活かした製品として有名であるが、医療部品のヘバーデンリング(手指の第一関節を

社能作に入社。2017
能作の“顔”として新
能作の“顔”として新
2023年3月20日、
現在に至る。



固定するリング)まで手がけているのは驚きである。その特性から着脱もストレスなく、指の太さや腫れ等に合わせて調節でき、水仕事もストレスなくできるという。錫の特性が最大限に活かされていることに驚いた。

ものづくりで大切にしているのは、400年に亘り受け継がれた高岡の歴史そして、職人の技術。しかし、デザインやお客様の要望も取り入れながら、時代の変遷とともにその形も変えていく。伝統的でありながら、錫のような柔らかさをもったものづくりをしていくことが大切であると語っていただいた。まさにその考え方を象徴する様な製品であり、非常に感銘を受けた。



アサヒ装設は、“ものづくり”と“おいしさづくり”をしているが、ただの“ものづくり”になってしまうことのない様に、大切なことを忘れない様に、周りの人や地域、日本、そして世界を巻き込みながら仕事ができる環境を構築していきたい。そして、業界を超えて、おいしさづくりのお手伝いをしていきたい、そう思った今回の訪問であった。

株式会社 能作

新高岡駅からクルマで15分、
または高岡新波スマートICからクルマで3分
富山県高岡市オフィスパーク8-1

広報部レポート

地域の伝統を守り未来へつなぐ 「デザイン経営」という手法



2018年に経済産業省と特許庁がデザイン経営宣言を行なったことで注目されるようになったのが「デザイン経営」。企業が大切にしている価値などを表現する営みをデザインと定義し、事業戦略構築の最上流からデザインを活用する経営手法のことである※。お客様目線で課題を見出し、解決に向けて柔軟なアプローチを執ることで、強いブランドの構築やイノベーションを創出する。今回お邪魔させていただいた能作様も、デザイン経営の手法を意識して現在の新しい本社工場を完成させたという。「価値観を共有した人々(ユーザー・社員)」の目線が起点となってデザインされた「もの」「こと」、その取り組みについて本社工場で学ばせていただいた。

※中国経済産業局 産業部HP
<https://www.chugoku.meti.go.jp/r4fy/topic/ryutsu/221130.html>より「デザイン経営」の定義を引用

外観の美しい社屋に足を踏み入れると、それだけで単なる本社工場ではないことを知る。そこは地域共創の心を育み、伝統工芸を未来へ継承したいという想いが詰まった“地域のプラットフォーム”。地域の人々、県外からの観光客、働く社員がそれぞれの立場で見えと感動に出会う場所なのだ。館内の至る所に人に優しいデザインが溶け込み、洗練されたセンスを見せつけながらも、意識させることなく人を各ゾーンへと導く機能性を持った社屋。様々な発見が散りばめられ、人々を楽しませてくれる仕掛けにも感心させられる。コンセプトデザインやプロダクトデザインの伝え方にも、全ての人に優しく真っ直ぐで一貫した表現が特徴的である。



工場見学では、職人技と伝統を通してのものづくりに親しみを感じることができ、カフェやショップで時代の変化に即した新しい伝統工芸の形を知ることができる。鋳物製作体験や工場見学はいつでも大人気で多くの人が参加する。言葉にしたり形にしたり、身近に感じるのが難しかった地域の伝統工芸を日常に落とし込んで伝えてくれるのが能作の「もの(プロダクト)」と「こと(体験)」。大切にしている企業価値や伝統工芸への感動が記憶に残る楽しいデザインが詰まっている。

この場所を訪れ、五感のすべてを刺激された子供たちは、感動を胸にものづくりに憧れを抱き、もっと伝統を知りたいと胸を躍らせることだろう。大人の女性であれば、美しくかつ生活に溶け込む機能性高い鋳物プロダクトに惚れ込み、地元の宝に誇りを感じて、それを自分のアイデンティティの一部として大切にしていくことだろう。ここは地域に支えられている伝統工芸を、地域の人々とともに未来の子供たちへつなげていく貴重なプラットフォームだとしみじみ感じた。

2024年度展示会出展の完了報告 — ご来場ありがとうございました —

皆様のおかげをもちまして、2024年度展示会は無事完了いたしました。国内はもちろん、タイや韓国にも出展させていただきました。6月に東京ビッグサイトで開催されたFOOMA JAPAN 2024では、創立70周年を機に新たなブランドイメージで設営したブースに、昨年を上回る数のお客様をお迎えすることができ、貴重なニーズやフィードバックを頂戴いたしました。来場者10万人を超える世界最大級の食品製造展で、私たちのビジョンや取り組みを伝え、最新の製品をご覧いただけたことは、大変貴重な機会となりました。また他社の製品・サービスを拝見し「食」に携わる製造業界の今を深く理解できました。今後も皆様のご期待に応えられるよう引き続き努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

[FOOMA JAPAN 2024]

2024年6月4日(火)~6月7日(金)4日間
東京ビッグサイト 来場者数:113,777名

今回、当社は高温熱気と循環方式で素早い加熱と均一な焼き調理を実現する**インピンジメントオープン「IMPEJ-80BS-2 型(2段式)」**と、さまざまな製造現場で高い人気を誇る直火加熱方式の**高効率ガスフライヤー「DOBC-45B-X 型」**を展示しました。また、ミキサーや成形機、コーティングマシンに加え、揚げ物製造に進化をもたらす**新製品・UV 脱臭装置と真空濾過機「KH 型」**もご紹介。新しい製品・技術を求めてご来場された多くのお客様の注目を集めました。

インピンジメントオープン IMPEJ-80BS-2 型

- スーパーヒーターを搭載することで蒸気流量のコントロール可
- 特殊ノズルで素早く綺麗な焦げ目
- 2段式・ユニット連結など調理に合わせてカスタマイズ可



高効率ガスフライヤー DOBC-45B-X 型

- 熱交換器で排熱を回収し有効利用
- 輻射熱を抑え、作業環境改善
- 3点温度制御によって温度ムラを抑え安定調理



Option

真空濾過機 KH 型

油の回収・濾過からカス廃棄まで自動で連続的に実施。ミクロン濾紙で超精密に濾過し、油の変敗を防ぐため廃油回数や油の継ぎ足しが減り、油コストを抑えます。



UV 脱臭装置

UVライトを搭載した脱臭装置。フライヤーから出る排気を脱臭し、外部へ排出することで作業環境をクリーンに改善します。



●製品については当社営業担当までお気軽にご相談ください。

[Thaifex Anuga 2024]

2024年5月28日(火)~6月1日(土)5日間
タイ・IMPACT Muang Thong Thani



[ProPak Asia 2024]

2024年6月12日(水)~6月15日(土)4日間
タイ・バンコク BITEC



[SEOUL FOOD 2024]

2024年6月11日(火)~6月14日(金)4日間
韓国 KINTEX



こだわりびと vol.23

品質保証部課長 中島 嘉明

品質保証部の課長を務める中島は勤続34年のベテラン社員だ。入社した1990年は国内パソコン普及率10%、インターネット利用世帯3%以下と情報化未発達な時代。多くの企業が情報化推進の専門の人材を求める中、当社では、PCの知識とプログラミング力に長けた中島が戦力として加わった。「新たな情報の連続にわからないことばかり。膨大な情報の中から自ら調べ、専門の人に何度も聞いて理解に繋がった」と当時を振り返る。ドラ



1997年総務部(旧・総務部総務業務課)に所属していた頃

スティックな変化の波に残されまいと、当社も早い段階で情報化による生産活動の効率化・企業力強化に注力してきた。中島はプロジェクトチームの一員としてIT環境整備に大きく貢献し、社内のProblem solverとして奔走してきたのである。

今も様々な部署を歩き来し、社員との会話を欠かさない中島。先輩の背中を見たり、自ら足を運んで知見を深めたかつてとは異なり、今、学び方は人それぞれ。だがコミュニケーションの大切さは後輩に伝え続けたいし、仕事でもそれ以外でも自分から率先して物事に向き合ってほしいと語る中島。自らの豊富なノウハウは、惜しまず後輩に伝えていくつもりだ。



ASAHI 装設株式会社

本社・工場 〒924-0017 石川県白山市宮永町1863-1
水島研究所 〒924-0855 石川県白山市水島町500-3
東京営業所 〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル2F
大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-26 オリエンタル新大阪ビル1403号室
福岡営業所 〒816-0922 福岡県大野城市山田2-12-5 シャルマン1F

TEL.076(275)8159
TEL.076(277)8159
TEL.03(3453)8159
TEL.06(7662)8159
TEL.092(574)1802

〈代理店〉
北海道地区(有)ヤスダ 〒065-0020 北海道札幌市東区北二十条東18-7-21 TEL.011(785)1768
東北地区(有)明恒装設 〒985-0063 宮城県塩竈市栄町8-9 TEL.022(363)2521
千葉地区(株)京葉フーズマシーン 〒264-0016 千葉県千葉市若葉区大宮町3218-5 TEL.043(262)8466
静岡地区(株)SK システム 〒422-8055 静岡県静岡市駿河区寿町12-30 TEL.054(281)8581

〈関連会社〉
(株)HI-COOK/韓国アサヒ装設(株)/HI-COOK(Thailand) Co.,Ltd. / Asahi Sosetsu(Thailand) Co.,Ltd.

発行/アサヒ装設株式会社 〒924-0017 石川県白山市宮永町1863-1 TEL.076(275)8159 www.hicook.com 2024年10月号

SNSもやってます!

